

令和7年度 学校評価結果について

11月14日から11月30日にかけて実施いたしました学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

アンケートの結果のうち、学校教育目標に合わせて、主だった点について、ご報告いたします。

詳しい結果はこちらです。→



進んで勉強する子	【数値は、肯定的評価「よくできている」「できている」の割合:%】		
	児童	保護者	教職員
①話を聞くことについて	90.7	83.9	100
②正しい言葉遣いで話すことについて	96.3	85.7	100
③考え、発表することについて	88.9	75	100
④学習理解について	98.1	78.6	92.9
⑤家庭学習について	85.2	55.4	92.9

④「学習理解」は、児童が98.1%となりましたが、保護者とはポイントの差がありました。教職員は、学校課題で授業改善に取り組み、ICTを活用したりUDを意識した授業実践を重ねたりしておりますが、今後も「分かる授業」「子どもが活躍する授業」づくりにむけて、一時間一時間を大切に取り組んでまいります。

⑤「家庭学習」は児童が85.2%に対し、保護者は55.4%とポイントの差が大きくありました。東陽ブロック小中一貫教育として小中連携を図り、学習強調週間で家庭学習がんばりカードを活用したり家庭学習の在り方について検討したりしてまいります。児童への日々の課題の出し方を工夫し、学年だより等での家庭との連携を図ってまいります。



心の豊かな子	児童	保護者	教職員
①あいさつや返事について	98.1	87.5	100
②インターネットやゲームの約束について	90.7	76.8	92.9
③いじめ防止について	94.4	87.5	100
④傾聴について	100	96.4	92.9

①「あいさつ」について、あいさつ強調週間に児童同士で呼びかけったり小中で連携して取り組んだりしました。「相手に伝わるように」という点をより意識させ、今後も継続して「あいさつ」への意欲を高めてまいります。

②「インターネットやゲームの約束」については、児童も保護者も昨年に引き続き最も低く、今後も学校と家庭とで連携して継続的な指導を進めてまいります。

③「いじめ防止への取り組み」は、児童・保護者・教職員と共にポイントは高いですが、今後も継続し、学校での取り組みや児童の様子を周知したり、気軽に相談できる体制を整えたりしてまいります。

④「傾聴」については、児童・保護者・教職員ともに高い結果となりました。子どもたちは学校や家庭で安心して話せる環境にあると考えられます。今後も、全職員・全児童担任をモットーに、子どもたちに寄り添う支援を進めてまいります。

元気でたくましい子	児童	保護者	教職員
①体力づくりについて	94.4	83.9	100
②安全な生活について	96.3	98.2	92.9

②「決まりを守って安全に生活」については、児童・保護者・教職員と高評価でした。学校生活目標等を活用した児童への指導と合わせて、安全な教育環境の整備に努めてまいります。



自由記述について
○本校教育活動や教育環境について、温かい励ましや建設的なご意見、ご提案をいただき、ありがとうございました。今後も、学校教育目標の具現化に向けて、授業改善や個に応じた支援をいっそう進めてまいります。
○先生によって熱量の差を感じ、あいさつや連絡不足に不安を感じたというご意見をいただきました。これまで以上に、教職員間での情報を共有して同一歩調で児童支援・指導に当たり、保護者との連絡・連携を図ってまいります。また、新年度白衣クリーニングのご提案もありましたが、予算の関係もあり検討してまいります。